





調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 勝浦 伸行 様



報告年月日	令和 4年 5月20日
実施日(期間)	令和4年 4月22日
実施場所 (行先等)	一関市 岩手日報ビル 3階会議室
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 調査研究 要望・陳情活動 会議
事業内容	2022年 新人議員特別セミナーin 一関 「議員の資質向上と議会運営の基本」 改革の底辺から底辺の改革へ 講師 自治体議会研究所代表 高沖秀宜 氏
報告者	(会派名) 日本共産党一関市議団 (代表者) 岡田もとみ 
参加者	議員 齋藤 禎弘  議員 千葉 栄生  議員 佐藤 真由美 
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙
主要 資料名	セミナーレジメ

別紙

1、目的

新人議員として、「議員の資質向上と議会運営の基本」を学ぶために受講した。

2、概要

① 議員の資質向上

- 1) 議会の役割・機能 憲法 93 条 議事機関として議会を設置する。
→審議する、熟議する機関
- 2) 議決機関としての議会の権能
 - ・ 議決によって自治体意思が決定される。⇒団体意思の決定機能
- 3) 長その他の執行機関の事務執行に対し、これを監視する機能
 - ・ 議会と長が相互の牽制と均衡の関係に立つという考え方に基づくものであり、憲法上、「二元代表制」が要請されている。
- 4) 議事機関としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能を担う。
 - ・ 議員及び委員会の議案提出権、議案に対する修正の動議、専門的事項に係る調査、条例の制定改廃や予算の議決権等
 - ・ 地方分権が進展し、地方自治体の自己決定の領域が拡大する中、議会の政策形成機能の一層の発揮が求められている。

② 議会運営の基本

- 1) 憲法上、地方公共団体の統治構造は、二元代表制をとることを要求している。
- 2) 二元代表制における議会の役割をどう捉えるか⇒議会は、首長の追認機関ではない
- 3) 議会は、「二元代表制」を理解し、機能させる。議会改革とは「二元代表制」を追求していくこと。
- 4) 戦略持って政策提言できる議会へ、また、「監視型」議会から「政策提言議会」へ

③ 議員力・議会力の強化

- 1) 議会力 政策立案及び政策提言を議員間で共有し、市民のためのより良い政策とする力及びその政策実現に向けた総合的活動をいう。
- 2) 議員力 地域課題を把握し、その解決を目指して調査し政策を構想する能力並びにその活動を言う。

④ 監視機能の強化

- 1) 一般質問の反映と充実
 - ・ 「質問権」は議員の固有の権限とする考え方もある。
 - ・ 一般質問に対して「検討する」とか「検討したい」とかとした答弁した事項について、追跡調査することが必要である。
- 2) 予算委員会
 - ・ 決算審査で議会から指摘されたものが、翌年以降の予算や行政執行にどう反映されたかをチェックする。
- 3) 決算委員会
 - ・ 市の事務事業が住民ニーズに沿ったものか、市の全体最適性にかなったものかを審査し、疑義のある事業については議員間討議を重ね、議会という機関で対峙し提案する。

⑤ 政策提案・政策提言機能の強化

- 1) 議員の一般質問からの議会の政策提案へ
 - ・ 議会として一般質問の評価を実施し、議会からの政策提案にする。
- 2) 一人の議員の問題提起を委員会の所管事務調査にする。

⑥ 通年制議会

- 1) 通年議会は、議員同士の議論を重視する点に神髄はある。

⑦コロナ禍の議会運営

- 1) 議事機関としての機能は維持されているか
- 2) 多様性のある議会
- 3) オンラインによる委員会の開催
- 4) オンラインによる本会議の開催

⑧政務活動費は不要か

- 1) 自治体議員は政務活動費の政策的活用を図り、住民にその成果を還元していくことで応えるべきではないか

3、参考とすべき事項・所感

①議会の役割・機能

- ・住民の代表機関であり、議決機関である。いかに「民意」を反映できるかが課題である。また、執行機関の事務執行に対する監視機能を担う。このことを改めて再認識した。
- ・議事機関として審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能を発揮することが求められている。

②議会運営の基本

- ・地方公共団体の長と議会の二元代表制であり、議会は、首長の追認機関ではない。政策形成機能を発揮し、政策を競い合うこと。

③監視機能の強化

- ・市の事務事業が住民ニーズに沿っているか、市全体最適性になつたものか審査し疑義のある事業は会派を問わず議員間討議を重ね、議会としての意思を示すべきである。

④一般質問のレベルを上げることで、議員力・議会力のアップにつながる。調査、学習が重要である。

以上、報告します。

調査研究等事業報書 (会派用)

一関市議会議長 勝浦伸行 様



報告年月日	令和 4年 11月18日		
実施日(期間)	令和 4年 10月28日		
実施場所 (行先等)	花巻市議会委員会室		
事業区分 (いずれかに○)	研 修	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究	要望・陳情活動 会 議
事業内容	花巻駅橋上化の事業計画について		
報告者	(会派名) 日本共産党一関市議団 (代表者) 岡田もとみ		
参加者	議 員 岡田もとみ	議 員 千葉 栄生	
	議 員 齋藤 禎弘	議 員 佐藤 真由美	
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙		
主 要 資料名	別紙		

別紙（１）

1、 目的

まちづくりの参考事例として、先進地を視察し調査研究を行う。

2、 概要

J R花巻駅橋上化・東西自由通路整備事業の概要について、建設部、都市機能整備室担当職員より、説明を受ける。

3、 参考とすべき事項・所感

○検討の経過

- ・ H 1 2 年（合併以前）より、花巻駅西口改札を求める声があり、J R 東日本コンサルタンツに基本設計を委託する。多額な費用を要することから次期計画に繰り延べた。
- ・ H 1 8 年、合併後も市の重要課題として位置付ける。しかし、H 2 1 年「設置は困難」という方針決定がなされる。
- ・ H 2 2 年、花西地区まちづくり協議会から「花巻駅西口改札の設置について」要望書が提出される。経費負担、駅利用者の減少により、難しい状況であり、地下道の改修を進めると回答する。
- ・ H 2 3 年から 2 4 年、地下道改修工事を行う。（工事費 4,377 万円）
- ・ H 2 9 年、「花巻駅周辺整備基本計画調査業務委託料 1,491 万円」を議決し J R 東北工事事務所と協定を締結。
- ・ 令和 2 年、6 月から 1 2 月住民説明会を行う。（計 1 6 回）西口トイレ、駐車場整備、橋上駅の検討を要望する意見等が出された。
- ・ 令和 3 年、事業費精査の追加調査費を計上していたが、市民説明が不十分であり拙速であるとの理由で予算削減。
- ・ 令和 4 年、市民説明会を行う。旧)花巻市内 1 5 ヶ所、
コミュニティー単位 1 9 回
延べ 2 6 7 名
アンケート 2 0 0 名（市民説明会において）
賛成 8 1、6 %

○・花巻市まちづくりアンケートを毎年行っている。

- ・この事業に関しても、紆余曲折のある中で市民からの意見、要望を重視しながら行っている。大いに参考にすべき点と思った。